

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		事業所における自己評価結果			
		公表日 2025年 3月 31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	0	内庭なども活用できている。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	0	予定表のホワイトボードが分かりやすい。表示サイン等を工夫している。部屋の境目に段差があるのでスロープを付けている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	0	除菌を適切に行っている。各部屋に空気清浄機や加湿器を取り入れて快適な環境となるようしている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	0	クールダウンなど落ち着ける場所が複数準備されている。活動内容に応じて各部屋を使い分けられるようになっている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14	0	ミーティングで意見を出し合う機会を持ち、サービスの改善に向けて取り組むようしている。毎日、業務後の振り返りを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	保護者様の評価と意向を誠実に受け止め、改善できるよう取り組んでいる。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0 (空欄1)	事業所内研修や全体ミーティングなど、職員個人が随時意見や相談ができる機会があり、業務の改善につながっている。	より丁寧に意見を吸い上げることのできる環境を作れるよう、できることを探していきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	—	—	第三者評価は行っておりません。	検討中です。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	0	支援に関連した地域の研修会に参加している。事業所でも定期的な研修を行っている。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	0	ホームページ (https://ds.npo-sokushin.org/) で公表している。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14	0		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	0	個別支援計画の原案会議をスタッフミーティングを設け検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	0	電子的なツールで共有できるようにしている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0	専用のソフトで情報が管理されており、子どもの様子が把握できるよう努めている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0		

供 与	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	14	0	学習活動は個別に対応し、工作やリズム運動などは集団またはグループ分けをして行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0	その日の療育で改善できることやヒヤリハットを振り返り、共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	14	0		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	0	はじめの会等で子どもの意見を聞いた上で活動内容をいくつか用意し選択できるよう提案するなどの機会を設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	0		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	14	0	保護者を通して、また先生方と直接会って話すなど、情報共有に努めている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14	0		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	0 (空欄1)	相談支援事業所を中心必要に応じて情報の提供をさせていただいている。	移行の際の情報の提供や共有に関連して、その内容を事業所職員間でより十分に共有できるよう努めます。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13	0 (空欄1)	支援が難しいケースなどの場合には適切なサポートや助言を求めている。	それほど難しくないケースでも必要に応じて助言や研修の機会を設けられるか検討します。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	14	0	地域の児童館を適宜利用している。	
保 護 者 へ の	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	13	0 (空欄1)	自立支援協議会の主催する研修会などに積極的に参加しており、協議会からのお知らせなどの周知を徹底している。	協議会が関係している情報をもっと分かりやすく共有できるよう検討します。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	送迎時に聞けている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	0		
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0		
保 護 者 へ の	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	0	イベント時に保護者会も同時に開催するなど、交流できる機会を設けている。	

説明等	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0	事業所の通信（ぐっどふれんど）などで行っている。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	必要に応じてホワイトボードなどを活用している。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	1	カフェや流しそうめんなどの企画を通して声掛けしている。	より地域に開かれたイベントを計画する点では、安全を確保する面での対策と工夫が課題。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	0		
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	0	自然災害と感染症でそれぞれBCPを策定し、定期的に研修と訓練を行っている。引き渡し訓練など、保護者の方にも参加していただけている。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	0		
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	0	安全計画を策定し、安全点検や子どもへの安全指導を研修し訓練している。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	0	安全対策や取り組んだ内容を会報などで周知している。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	電子的な連絡ツールでその日のうちに共有するよう努めている。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0		
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	0	身体拘束適正化のための指針を設けてその対応方針について定めている。現在、身体拘束が必要な児童はない。	